

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020030

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	町					
事業指標	し尿処理量					
事業目標	施設の安定運営					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	4 住民生活課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	有 廃棄物処理法		
			関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画		

		全体計画	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容		一部事務組合にて広域し尿処理を行っており、 応分の組合運営分担金を支出するものである。	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金
	事業費(千円)	122,160	24,432	24,432	24,432	24,432	24,432
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	122,160	24,432	24,432	24,432	24,432	24,432	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	45,573	22,629	22,944	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	45,573	22,629	22,944				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・町単独での処理が困難な、し尿処理を 広域的(西紋別地区)に実施雄武町の 応分の組合運営分担金を西紋別地区 環境衛生施設組合に支出	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	施設の安定運営	施設の安定運営	施設の安定運営	施設の安定運営	施設の安定運営
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	93%	94%	0%	0%	0%
		全体達成率	19%	37%	37%	37%	37%
	事業進捗状況	☆☆☆☆					

事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	淡路 至尊
		評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長	苫米地 幸二

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町で発生するし尿	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	し尿等処理量
【抱える課題やニーズは】	町内で発生するし尿の適正処理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	分担金支出による施設の安定運営	① し尿処理量	目標年度 目標値 1,445 kℓ 実績値 1,445 kℓ 達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	施設の維持管理、し尿の継続処理		②
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	組合運営分担金の支出	一部事務組合にて、し尿処理を広域で行っており、応分の組合運営分担金を支出する	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町単独でのし尿処理は困難であり、一部事務組合の広域的処理が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町で発生するし尿等はすべて適切に処理されている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	広域に処理することで、町単独で行うよりコスト削減が図られている。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	し尿の適正な処理は、全ての町民の快適で清潔な生活環境を守るものであり、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町内で発生するし尿の処理を広域で行っており、今後も適正な処理を継続して行う必要があることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民の快適で清潔な生活環境を創造するため、町単独で処理が困難なし尿処理を広域的に実施することが今後も必要であり、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止